

■当ファンドの仕組みは次の通りです。



商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年6月16日から2028年6月15日まで	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーフンド	DWS ロシア株式マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド	ロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等を主要投資対象とします。ロシアの株式への投資にあたっては、主にロシアの企業が発行する株式及び預託証券等に投資します。なお、事業活動の大半がロシアで行われる企業が発行する株式及び預託証券等に投資することもあります。
組入制限	ベビーフンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時(原則として毎年6月15日及び12月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

DWS ロシア株式ファンド

第25期 運用報告書(全体版)

決算日 2020年12月15日

■投資者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWS ロシア株式ファンド」は、2020年12月15日に第25期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

〈お問い合わせ先〉

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 達 配 金 期 騰 落 中 率		MSCIロシア10/40 (税引後配当込み 円換算ベース)		株組入比率	純資産額 総
		円	%	円	%		
21期(2018年12月17日)	7,194	0	0.2	7,285	3.3	96.9	2,031
22期(2019年6月17日)	8,199	0	14.0	8,290	13.8	96.4	1,849
23期(2019年12月16日)	9,008	0	9.9	9,444	13.9	100.2	1,829
24期(2020年6月15日)	7,987	0	△11.3	8,182	△13.4	99.2	1,731
25期(2020年12月15日)	9,110	0	14.1	9,013	10.2	100.5	1,686

(注1) 参考指数であるMSCIロシア10/40(税引後配当込み 円換算ベース)は、設定日を10,000として指数化しております。

※参考指数はMSCIロシア10/40(税引後配当込み 米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算しております。

※MSCIロシア10/40は、MSCIインク(以下「MSCI」といいます。)が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

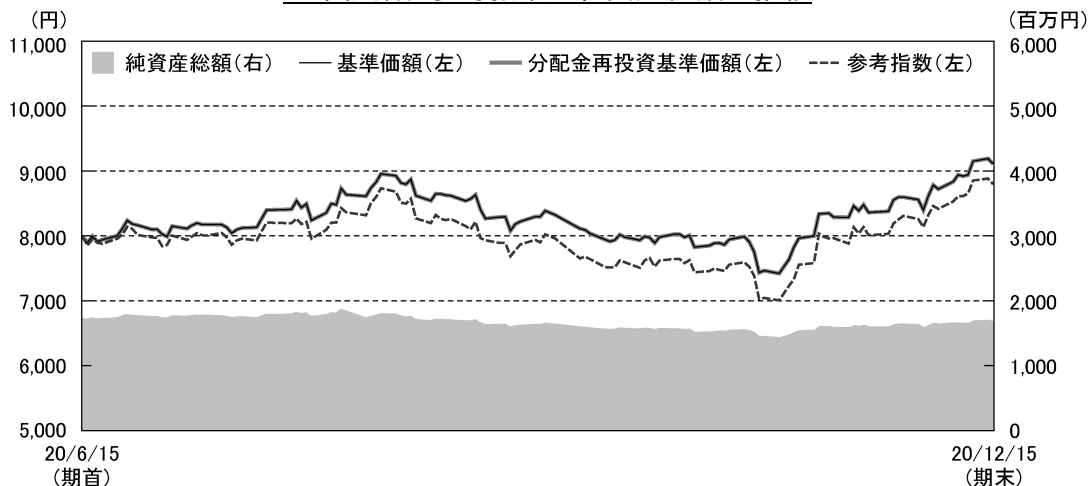
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	MSCIロシア10/40 (税引後配当込み 円換算ベース)		株組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2020年6月15日	円 7,987	% —	% —	% 99.2
6月末	8,101	1.4	△0.2	98.0
7月末	8,240	3.2	△0.4	97.8
8月末	8,539	6.9	2.1	98.8
9月末	7,937	△0.6	△5.9	97.9
10月末	7,465	△6.5	△11.8	97.8
11月末	8,557	7.1	3.4	98.6
(期末) 2020年12月15日	円 9,110	% 14.1	% 10.2	% 100.5

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

基準価額、参考指数と純資産総額の推移



※参考指数：MSC I ロシア 10/40 (税引後配当込み 円換算ベース)

※参考指数は期首を基準価額と同じ値として表示しております。

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において9,110円となり、前期末比14.1%上昇しました。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。業種別では、素材や金融銘柄の株価上昇等がプラスに寄与しました。個別銘柄では、銀行のズベルバンク・オブ・ロシアや採掘サービス会社のポリウスの保有等がプラスに寄与しました。

◆投資環境

当期のロシア株式市場で株価は上昇しました。期初は、欧米の景況感改善などによる海外の株高が追い風となり、堅調な展開となりました。その後、野党指導者の毒殺未遂事件に絡み西側による新たな制裁懸念が広がったことや、欧米における新型コロナウイルス感染再拡大を受けて需要の低迷が長期化すると観測が高まり原油価格が下落したことなどが嫌気され、株価は大きく調整しました。2020年11月に入り、米大統領・議会選の結果や新型コロナウイルスワクチン開発の実用化に向けた進展を受けて世界的にリスク選好の動きが広がると、需要の改善期待などから原油価格が急反発したこともあり、株式相場は大きく反発して期末を迎えました。

◆運用状況

(当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

(DWS ロシア株式マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。期中の主な売買銘柄は以下のとおりです。

(購入)

ヤンデックス

業績の着実な伸びが期待できることから購入しました。

ロスネフチ

原油需要の回復や開発中のプロジェクトが業績に大きく寄与すると考え購入しました。

アルロサ

ダイヤモンド需要の回復による恩恵が期待されたことから購入しました。

(売却)

ポリウス

ワクチン開発の進展などを受けてコロナを巡る不透明感が解消に向かう中、景気に対する感応度がより高い銘柄へ乗り換える過程で売却しました。

マグニト

ワクチン開発の進展などを受けてコロナを巡る不透明感が解消に向かう中、景気に対する感応度がより高い銘柄へ乗り換える過程で売却しました。

ポリメタル・インターナショナル

ワクチン開発の進展などを受けてコロナを巡る不透明感が解消に向かう中、景気に対する感応度がより高い銘柄へ乗り換える過程で売却しました。

◆収益分配金

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第25期
	2020年6月16日～ 2020年12月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,675

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針

(当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

(DWS ロシア株式マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

2020年11月以降、期待先行で株価や原油価格が急反発しましたが、実体経済の回復ペースやその持続性をもう少し見極める必要があると考えています。また、ロシア国内では新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な状況にあり、国内開発のワクチンが有効に作用するかどうかにも注目しています。運用にあたっては、全体的にやや慎重なスタンスを維持し、ディフェンシブ性の強い銘柄を愛好していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	84	1.037	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(40)	(0.496)	委託した資金の運用等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.496)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.044)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.027	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.027)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	22	0.269	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.095)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ・ 印 刷 費 用 等 ）	(14)	(0.175)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	108	1.333	
期中の平均基準価額は、8,139円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

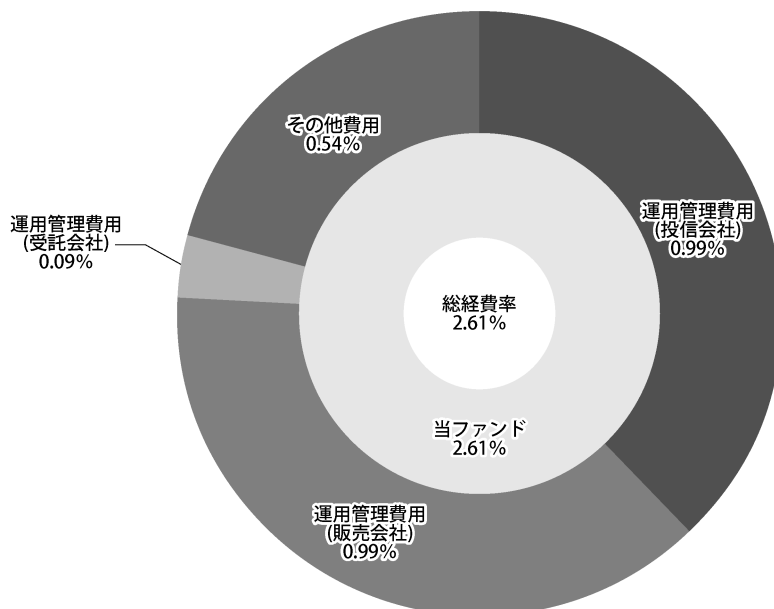
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.61%です。



(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
DWS ロシア株式マザーファンド	43,309 千口	44,653 千円	298,216 千口	324,156 千円

(注)単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2020年6月16日～2020年12月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	DWS ロシア株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,043,501千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,618,496千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.64	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2)単位未満は切捨て。

(注3)マザーファンドの数字は、当ファンドの計算期間で算出。

○マザーファンドにおける主要な売買銘柄

(2020年6月16日～2020年12月15日)

●DWS ロシア株式マザーファンド

株式

買 付				売 付			
銘柄	株 数	金 額	平均単価	銘柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
YANDEX NV-A(アメリカ)	9	58,703	6,522	MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR(アメリカ)	23	68,662	2,921
ROSNEFT OJSC-REG S GDR(アメリカ)	82	46,985	569	POLYUS PJSC-REG S-GDR(アメリカ)	6	68,194	10,911
ALROSA PAO(アメリカ)	299	33,609	112	MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS(アメリカ)	35	51,609	1,474
AO GAZPROM SPON ADR(アメリカ)	65	30,781	473	POLYMETAL INTERNATIONAL PLC(ギリシア)	17	45,695	2,611
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR(アメリカ)	10	29,860	2,986	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S(アメリカ)	2	40,785	16,314
TATNEFT PAO-SPONSORED ADR(アメリカ)	6	24,808	4,134	MAGNITOGORS-SPON GDR REGS(アメリカ)	51	35,162	689
TCS GROUP HOLDING -REG S(アメリカ)	9	22,587	2,509	QIWI PLC-SPONSORED ADR(アメリカ)	16	28,450	1,724
SEVERSTAL-GDR REG S(アメリカ)	16	21,004	1,312	X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR(アメリカ)	7	27,394	3,913
QIWI PLC-SPONSORED ADR(アメリカ)	11	21,001	1,826	SBERBANK-SPONSORED ADR(アメリカ)	20	26,390	1,319
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S(アメリカ)	1	17,073	13,659	NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR(アメリカ)	10	22,449	2,138

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切捨て。

(注3)国名は企業の本拠地がある国ではなく、売買が行われている市場が存在する国を記載しています。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月16日～2020年12月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年6月16日～2020年12月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年12月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
DWS ロシア株式マザーファンド	千口 1,721,138	千口 1,466,230	千円 1,693,642

(注)単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年12月15日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
DWS ロシア株式マザーファンド	千円 1,693,642	% 98.9
コール・ローン等、その他	19,139	1.1
投資信託財産総額	1,712,781	100.0

(注1)評価額の単位未満は切捨て。

(注2) DWS ロシア株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(1,707,315千円)の投資信託財産総額(1,712,603千円)に対する比率は99.7%です。

(注3)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年12月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=104.12円、1英ポンド=138.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,712,781,818
コール・ローン等	143,241
DWS ロシア株式マザーファンド(評価額)	1,693,642,525
未収入金	18,996,052
(B) 負債	26,079,787
未払解約金	7,915,789
未払信託報酬	17,326,230
その他未払費用	837,768
(C) 純資産総額(A-B)	1,686,702,031
元本	1,851,565,900
次期繰越損益金	△ 164,863,869
(D) 受益権総口数	1,851,565,900口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,110円

<注記事項>

期首元本額	2,168,117,920円
期中追加設定元本額	92,572,744円
期中一部解約元本額	409,124,764円

○損益の状況 (2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 81
支払利息	△ 81
(B) 有価証券売買損益	223,254,043
売買益	242,295,131
売買損	△ 19,041,088
(C) 信託報酬等	△ 18,163,998
(D) 当期損益金(A+B+C)	205,089,964
(E) 前期繰越損益金	234,596,917
(F) 追加信託差損益金	△ 604,550,750
(配当等相当額)	(424,147,804)
(売買損益相当額)	(△1,028,698,554)
(G) 計(D+E+F)	△ 164,863,869
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 164,863,869
追加信託差損益金	△ 604,550,750
(配当等相当額)	(424,538,499)
(売買損益相当額)	(△1,029,089,249)
分配準備積立金	441,120,745
繰越損益金	△ 1,433,864

(注1) (A) 配当等収益—支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注3) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注4) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金の計算過程

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	46,705,271円
b. 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
c. 信託約款に定める収益調整金	424,538,499
d. 信託約款に定める分配準備積立金	394,415,474
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	865,659,244
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,675
g. 分配金	0
h. 分配金(1万口当たり)	0

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

(注1) 分配金をお支払いする場合

分配金のお支払いは、原則として決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

(注2) 分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、税引後みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

* 個人受益者が受取る普通分配金については、原則として20% (所得税15%、地方税5%) の税率で源泉徴収されます。(法人受益者の場合は税制が異なります。)

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%) の税率が適用されます。

* 少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」、「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方となります。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

* 元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

* 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。

* 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家または税務署にご確認下さい。

<お知らせ>

- ・ 該当事項はございません。

DWS ロシア株式マザーファンド

運用報告書

《第12期》

決算日：2020年6月15日

(計算期間：2019年6月18日～2020年6月15日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	ロシアの株式（これに準ずるものを含みます。）等を主要投資対象とします。ロシアの株式への投資にあたっては、主にロシアの企業が発行する株式及び預託証券等に投資します。なお、事業活動の大半がロシアで行われる企業が発行する株式及び預託証券等に投資することもあります。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIロシア10/40 (税引後配当込み 円換算ベース)		株組入比率	純資産額
	円	騰落率	円	騰落率		
8期(2016年6月15日)	5,794	△10.1%	4,996	△16.1%	95.9%	4,149百万円
9期(2017年6月15日)	7,453	28.6%	6,014	20.4%	98.5%	3,462
10期(2018年6月15日)	8,679	16.4%	7,050	17.2%	96.9%	2,342
11期(2019年6月17日)	10,117	16.6%	8,290	17.6%	94.3%	1,890
12期(2020年6月15日)	10,066	△0.5%	8,182	△1.3%	99.2%	1,732

(注)参考指数であるMSCIロシア10/40(税引後配当込み 円換算ベース)は、設定日を10,000として指数化しております。

※参考指数はMSCIロシア10/40(税引後配当込み 米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算しております。

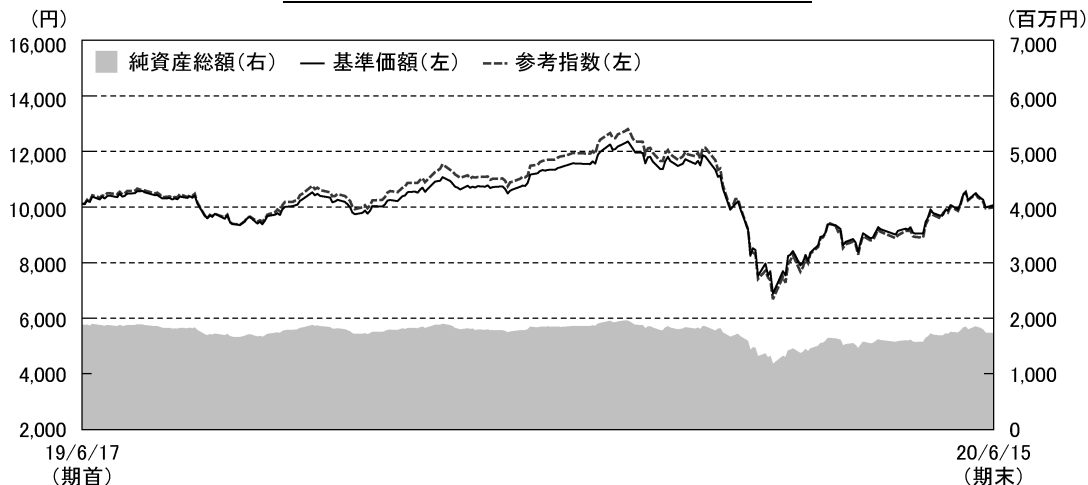
※MSCIロシア10/40は、MSCIインク(以下「MSCI」といいます。)が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIロシア10/40 (税引後配当込み 円換算ベース)		株組入比率
	円	騰落率	円	騰落率	
(期首) 2019年6月17日	10,117	—	8,290	—	94.3%
6月末	10,411	2.9%	8,601	3.8%	96.4%
7月末	10,335	2.2%	8,523	2.8%	97.0%
8月末	9,672	△4.4%	7,970	△3.9%	96.3%
9月末	10,187	0.7%	8,519	2.8%	98.6%
10月末	10,699	5.8%	9,049	9.2%	97.7%
11月末	10,724	6.0%	9,024	8.9%	99.5%
12月末	11,574	14.4%	9,785	18.0%	99.1%
2020年1月末	11,639	15.0%	9,796	18.2%	97.8%
2月末	10,670	5.5%	8,843	6.7%	92.5%
3月末	8,019	△20.7%	6,424	△22.5%	91.8%
4月末	9,277	△8.3%	7,533	△9.1%	94.2%
5月末	10,074	△0.4%	8,211	△0.9%	96.6%
(期末) 2020年6月15日	10,066	△0.5%	8,182	△1.3%	99.2%

(注)騰落率は期首比です。

基準価額、参考指数と純資産総額の推移



※参考指数：MSCI ロシア 10/40(税引後配当込み 円換算ベース)

※参考指数は期首を基準価額と同じ値として表示しております。

◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において10,066円となり、前期末比0.5%下落しました。当ファンドは、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。業種別では、素材や生活必需品銘柄の株価上昇等がプラスに寄与した一方で、エネルギーや金融銘柄の株価下落等がマイナスに影響しました。個別銘柄では、採掘サービス会社のポリウスや貴金属鉱業会社のポリメタル・インターナショナルの保有などがプラスに寄与した一方、天然ガス会社のノバテクや銀行のズベルバンク・オブ・ロシアの保有などがマイナスに影響しました。

◆投資環境

当期のロシア株式市場は値動きの激しい展開となりました。期初は、米中貿易戦争の激化などが重石となり方向感の乏しい展開が続きました。その後は、米中通商協議の進展期待や英国の合意なき欧州連合(EU)離脱が回避されるとの観測などから世界的な株高となったこと、原油価格の戻り歩調などが後押しとなり、年末年始にかけて上値を試す展開が続きました。ところが、年明け以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、グローバル経済への影響が懸念されると、産油国の減産協議が決裂し原油価格が一時急落したことなども嫌気され、株価やルーブルが大きく下落しました。その後、原油価格の反発や、各国の大規模な金融緩和や財政出動、経済活動の一部再開などを受けて株価は持ち直し、期初の水準近辺で取引を終えました。

◆運用状況

当ファンドでは当初の運用方針通り、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。期中の主な売買銘柄は以下のとおりです。

(購入)

ポリメタル・インターナショナル

金価格の上昇が業績の追い風になり、コーポレートガバナンスの観点でも優れていることから購入しました。

MMCノリリスクニッケル

世界の中央銀行による拡張的な金融政策が、同社が手掛ける非鉄金属相場に追い風になると考え、購入しました。

X5リテール・グループ

株価の割安感が高まった局面でポジションを積み上げました。

(売却)

ズベルバンク・オブ・ロシア

コロナ禍による業績の先行き不透明感や、株価上昇のきっかけになるような材料が乏しかったことなどを理由に売却しました。

Q I W I

経営陣の交代を受けて、同社の将来像が不透明になったことから売却しました。

メール・ドット・ルー・グループ

大手銀行との提携による効果や、今後の事業の方向性に疑問が生じたため売却しました。

◆今後の運用方針

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

原油価格の反発基調を追い風にロシア株やルーブルは戻りを試す展開が続いています。コロナ禍による業績や景気の鈍化が見込まれていますが、国が数年にわたり積み上げてきた予備基金を活用することで景気の落ち込みを緩和することが期待されます。また、ロシア株のバリュエーションは依然として全般的に割安な水準にあることや、多くの企業が強固な財務基盤を有することが株価の下支えになると考えています。国内の経済活動の再開状況等も注視しつつ、運用にあたっては、構造的な成長が見込まれるデジタル化の進展による恩恵が期待できる銘柄などに注目しています。

○1万口当たりの費用明細

(2019年6月18日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 7 (7)	% 0.065 (0.065)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	41 (28) (13)	0.401 (0.272) (0.130)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金 ・資産の移転等に要する費用 証券投資信託管理事務等に係る費用
合 計	48	0.466	
期中の平均基準価額は、10,273円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、(a)売買委託手数料、(b)有価証券取引税、(c)その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) (c) その他費用(その他)にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

○売買及び取引の状況

(2019年6月18日～2020年6月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 44,137	千米ドル 8,561	百株 38,883	千米ドル 8,845
	イギリス	575	千英ポンド 674	160	千英ポンド 219

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ロシア株式への投資は、米ドル建証券や欧米で流通する預託証券等に投資することが多いため、通貨区分が概ね米ドルとなっています。

○株式売買比率

(2019年6月18日～2020年6月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,011,469千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,692,817千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.18

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○主要な売買銘柄

(2019年6月18日～2020年6月15日)

株式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
POLYMETAL INTERNATIONAL PLC(イギリス)	57	92,108	1,601	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S(アメリカ)	5	93,613	17,020
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS(アメリカ)	65	85,855	1,320	OADO GAZPROM SPON ADR(アメリカ)	80	66,586	827
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR(アメリカ)	23	72,215	3,040	ROSNEFT OJSC-REG S GDR(アメリカ)	94	56,755	603
YANDEX NV-A(アメリカ)	16	62,956	3,934	SBERBANK-SPONSORED ADR(アメリカ)	32	52,641	1,619
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR(アメリカ)	20	60,836	3,038	QIWI PLC-SPONSORED ADR(アメリカ)	24	51,771	2,113
OADO GAZPROM SPON ADR(アメリカ)	90	56,277	621	YANDEX NV-A(アメリカ)	11	49,361	4,292
ROSNEFT OJSC-REG S GDR(アメリカ)	81	54,793	672	LUKOIL PJSC-SPON ADR(アメリカ)	4	41,897	10,474
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S(アメリカ)	2	49,240	21,884	MAIL. RU GROUP-GDR REGS(アメリカ)	16	41,509	2,515
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR(アメリカ)	50	48,292	965	MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS(アメリカ)	30	40,593	1,353
LUKOIL PJSC-SPON ADR(アメリカ)	5	41,757	7,592	ALROSA PAO(アメリカ)	325	39,556	121

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 国名は企業の本拠地がある国ではなく、売買が行われている市場が存在する国を記載しています。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月18日～2020年6月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
0AO GAZPROM SPON ADR	2,400	2,500	1,385	148,527	エネルギー	
HEADHUNTER GROUP PLC-ADR	100	—	—	—	資本財・サービス	
SURGUTNEFTEGAS-PFD-CLS	10,500	5,250	261	28,020	エネルギー	
TRANSNEFT-PFD-CLS	1	—	—	—	エネルギー	
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	450	800	735	78,842	コミュニケーション・サービス	
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	55	22	348	37,351	エネルギー	
LUKOIL PJSC-SPON ADR	190	205	1,560	167,299	エネルギー	
NEFAZ PJSC	650	650	153	16,462	資本財・サービス	
QIWI PLC-SPONSORED ADR	200	125	176	18,901	情報技術	
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	130	250	875	93,835	生活必需品	
NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR	290	300	572	61,352	素材	
ROSNEFT OJSC-REG S GDR	850	725	380	40,849	エネルギー	
ALROSA PAO	5,000	1,750	157	16,910	素材	
SEVERSTAL-GDR REG S	510	450	603	64,665	素材	
MAGNITOGORS-SPON GDR REGS	450	675	528	56,679	素材	
VTB BANK JSC -GDR-REG S	1,500	750	76	8,171	金融	
LSR GROUP PJSC-GDR REGS	—	915	173	18,603	不動産	
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS	400	750	939	100,698	生活必需品	
INTER RAO UES PJSC	87,500	100,000	693	74,349	公益事業	
MAIL.RU GROUP-GDR REGS	140	200	371	39,850	コミュニケーション・サービス	
SBERBANK-PREFERENCE	375	575	157	16,893	金融	
SBERBANK-SPONSORED ADR	1,025	850	1,019	109,339	金融	
PHOSAGRO PJSC-GDR REG S	275	225	305	32,718	素材	
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS	1,600	1,000	166	17,813	金融	
TCS GROUP HOLDING -REG S	34	90	161	17,334	金融	
DETSKY MIR PJSC - BOARD	—	600	84	9,016	一般消費財・サービス	
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR	240	415	1,160	124,434	素材	
POLYUS PJSC-REG S-GDR	171	122	946	101,548	素材	
TATNEFT PAO-SPONSORED ADR	115	165	814	87,305	エネルギー	
YANDEX NV-A	55	100	421	45,233	コミュニケーション・サービス	
小計	株数・金額	115,206	120,460	15,227	1,633,009	
	銘柄数<比率>	28	28	—	<94.3%>	
(イギリス)				千英ポンド		
POLYMETAL INTERNATIONAL PLC	—	415	632	84,893	素材	
小計	株数・金額	—	415	632	84,893	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<4.9%>	
合計	株数・金額	115,206	120,875	—	1,717,903	
	銘柄数<比率>	28	29	—	<99.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) <内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) ロードの変更等があった銘柄は、別銘柄として記載している場合があります。

(注6) ロシア株式への投資は、米ドル建証券や欧米で流通する預託証券等に投資することが多いため、通貨区分が概ね米ドルとなっています。

○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,717,903	96.3
コール・ローン等、その他	65,185	3.7
投資信託財産総額	1,783,088	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産(1,742,994千円)の投資信託財産総額(1,783,088千円)に対する比率は97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年6月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=107.24円、1ユーロ=120.68円、1英ポンド=134.14円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,816,210,288
コール・ローン等	53,447,653
株式(評価額)	1,717,903,362
未収入金	33,340,799
未収配当金	11,518,474
(B) 負債	83,708,002
未払金	62,981,298
未払解約金	20,726,677
未払利息	27
(C) 純資産総額(A-B)	1,732,502,286
元本	1,721,138,077
次期繰越損益金	11,364,209
(D) 受益権総口数	1,721,138,077口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,066円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,868,832,740円
 期中追加設定元本額 338,394,356円
 期中一部解約元本額 486,089,019円
 ②当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 DWS ロシア株式ファンド 1,721,138,077円

○損益の状況 (2019年6月18日～2020年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	104,029,650
受取配当金	103,711,800
受取利息	329,043
支払利息	△ 11,193
(B) 有価証券売買損益	△ 94,975,809
売買益	187,784,599
売買損	△282,760,408
(C) 保管費用等	△ 7,035,222
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,018,619
(E) 前期繰越損益金	21,929,015
(F) 追加信託差損益金	△ 232,797
(G) 解約差損益金	△ 12,350,628
(H) 計(D+E+F+G)	11,364,209
次期繰越損益金(H)	11,364,209

(注1) (A) 配当等収益－支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

・該当事項はございません。

■ <ご参考> 用語の解説

用語	内容
運用報告書	投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを決算ごとに受益者（投資家）に報告する説明書です。この中では基準価額、分配金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。
ベビーファンドとマザーファンド	受益者（投資家）のみなさまが取得する投資信託（ファンド）を「ベビーファンド」といい、ベビーファンドの資金をまとめて実質的に運用するためのファンドを「マザーファンド」といいます。マザー（親）ファンドとベビー（子）ファンドによって構成されているため、ファミリーファンド方式と呼ばれています。
純資産総額	投資信託は株式や公社債等の値動きのある有価証券に投資します。この有価証券を時価で評価し、株式や公社債等から得られる配当金や利息等の収入を加えた資産の総額から、ファンドの運用に必要な費用等を差し引いた金額のことです。
基準価額	投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて時価評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産総額を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが「基準価額」であり、毎日算出されています。
信託報酬	投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から運用会社・信託銀行・証券会社など販売会社へ間接的に支払われます。その割合および額は目論見書や運用報告書の運用管理費用（信託報酬）の項目に記載されています。
騰落率	投資信託の過去の運用実績（基準価額の推移の動向）を示すもので、基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出します。ある一定期間中に投資信託の価値がどれだけ変化しているかを表します。例えば過去3ヶ月、6ヶ月、1年等、一定期間に基準価額がどの程度値上がり（または値下がり）したのかを表しています。

出所：一般社団法人投資信託協会等